



警告のニューズレター「角笛」

発行日:2015年11月発行(第67号)

発行:警告の角笛出版

価格:フリーペーパー

角笛 HP: <http://www.geocities.co.jp/Technopolis-Mars/5614/>

【目次】

◎巻頭メッセージ:「ユダヤ人だと嘘をついている悪魔礼拝者たち」 エレミヤ

◎証:「『御霊の実』を結ぶ(2)」 E3

◎お知らせコーナー:「本の紹介」「日曜礼拝&HPのご案内」

[巻頭メッセージ]

「ユダヤ人だと嘘をついている悪魔礼拝者たち」 by エレミヤ

〔聖書箇所〕ヨハネの黙示録 2:9,10

2:9「わたしは、あなたの苦しみと貧しさとを知っている。しかしあなたは実際は富んでいる。またユダヤ人だと自称しているが、実はそうでなく、かえってサタンの会衆である人たちから、ののしられていることも知っている。

2:10 **あなたが受けようとしている苦しみを恐れてはいけない。見よ。悪魔はあなたがたをためすために、あなたがたのうちのある人たちを牢に投げ入れようとしている。あなたがたは十日の間苦しみを受ける。死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。**

今回は、「ユダヤ人だと嘘をついている悪魔礼拝者たち」という題でメッセージをしたいと思います。聖書に記されている艱難時代とは、じつは彼ら、ユダヤ人だと自称している悪魔礼拝者たちを通して実現する、ということを見ていきたいと思います。

聖書は上記節で、明らかに実際はそうでないのにユダヤ人だと自称している悪魔礼拝者たちに関して語っています。さらにこの箇所だけで

なく、同じ黙示録の以下の箇所でも再度彼らについて述べています。

〔聖書箇所〕ヨハネの黙示録 3:9

3:9 **見よ。サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しながら実はそうでなくて、うそを言っている者たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに来てひれ伏させ、わたしがあなたを愛していることを知らせる。**

短い黙示録の中で、主は二度にも渡って彼らについて語っているのです。ですので、このこと、偽ユダヤ人という存在が黙示録の時代、終末の時代において大きな意味合いがあることが分かるのです。

このテーマは微妙です。なぜなら、キリスト教会には偽ユダヤ人だとか、悪魔礼拝者などと言うと、それは反ユダヤだとか、神の民ユダヤ人を悪く言うな、などの意見がよくあるからです。私たちもこのような意見を知らないわけではありません。しかし自分の考えや世間の常識よりも、神のことばを優先すべきと思い、書くことにします。人の都合より、聖書を書かれた神の意図を尊重したい、と思うのです

聖書、黙示録は偽イギリス人にも偽フランス人にも言及せず、しかし、偽ユダヤ人に関しては一度ならず、二度も言及しているのです。彼らがじつは黙示録の時代、終末の時代に大いに

ユダヤ人だと嘘をついている悪魔礼拝者たち エレミヤ

関係していると理解することが正しいと思えます。

上記テキストには、このようなことが書かれています。

- ①ユダヤ人だと自称している偽者のユダヤ人が存在すること。
- ②彼らは悪魔礼拝者であること。
- ③彼らが正しいクリスチャンを迫害すること。

以上の3点が書かれています。これらの聖書の主張は正しいのか？それを検証していきたいと思っているのです。

<彼らはアブラハムの子孫ではなく、偽ユダヤ人である>

まず、①「偽ユダヤ人」ということを見てみましょう。現在、ユダヤ人であるとされている人々は中東のイスラエル国に住んでいる人々やアメリカに住むユダヤ人です。ユダヤ人とは、アンネ・フランクやキッシンジャーに代表される色の白い人々のことです。彼らの人種的な由来に関してユダヤ人作家アーサー・ケストラーが「第十三土族」という本を書きました。その本によれば、彼らユダヤ人だと自称している人々はじつは、セム族、黄色人種であるアブラハムとは何の関係も無い白人種であるとのこと。

彼らの人種的な由来はヨーロッパ、黒海の近くに住んでいた白人種であるハザール人たちです。彼らが8世紀にユダヤ教に集団改宗したもののなのです。彼らハザール人たちはユダヤ教の文化、習慣、言語を取り入れました。結果、色の白いユダヤ人が出来上がったのです。彼らはたしかにユダヤ教を信じているのですが、しかしだからと言って、血筋や人種まで変わるものではありません。たとえ彼らがユダヤ教を信じたとしても、彼ら自身の血統や遺伝は相変わらず白人であり、彼らは黄色人種であるセム族（アブラハムの子孫）とは異なる人種なのです。彼ら自身も自分たちのルーツが本物のユダヤ人ではないことを薄々知っているようです。それで彼らの言うユダヤ人の定義とは、「母親がユ

ダヤ人であること」とのことです。このことは聖書の定義とは全く違っています。聖書のユダヤ人の系図は福音書のイエス・キリストの系図を見ても分かりますようにアブラハム、イサク、ヤコブのように男の系図だからです。しかし彼ら偽ユダヤ人たちは彼らの男系の先祖を辿るといずれ白人種、ハザール人に行き着きます。それで「男系」に関しては語れないのでしょうか。

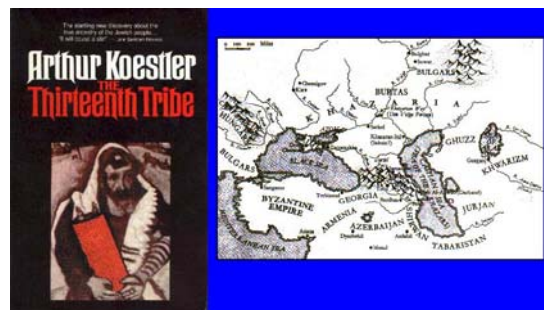
<彼らは悪魔礼拝者である>

次に、②彼らユダヤ人が悪魔礼拝者だということを見ていきましょう。この面でも聖書の言うことが正しいと思えます。事実彼ら、ユダヤ人は神を礼拝するというより、悪魔を礼拝しているとしか思えない人々です。

その証拠はいくつもあります。たとえば彼らの宗教であるユダヤ教の経典タルムードの教えです。タルムードには悪魔の教えとしか思えない多くの冒瀆的なことばが語られています。たとえば彼らは以下のように、神やキリストを冒瀆しています。

●サンヒドリン106 a イエスの母は売春婦だったという。“彼女は大工と売春婦遊びをした総督の王女の子である。”

●シャパット104 bの脚注#2には、“確認できない”タルムードのテキストには、イエスの母マリヤは美容師で多くの男と交わったと書かれている。



第十三土族:アーサー・ケストラー
今のユダヤ人が黒海近辺のハザール人種の子孫であることを語る

ユダヤ人だと嘘をついている悪魔礼拝者たち エレミヤ

●あなたは殺してはいけない、との掟の意味は、イスラエル人を殺すな、との意味である。ゴイ、ノアの子等、異教徒はイスラエル人ではない。
＜モシェー・バル・マエモン＞

彼らは上記のように神が送られたキリストを冒瀆し、キリストに関する嘘を広げています。さらに聖書の教え「殺すな」との教えを曲解して異邦人なら殺しても許される、と説くのです。キリストを冒瀆したり、殺人を容認したり、まさに悪魔の教えとしか思えない恐るべき、教えを彼らは持っているのです。そしてこのタルムードの「異邦人を殺しても罪にならない」の教えを、今のユダヤ人も信じ受け入れているようです。

結果、今イスラエルに住むユダヤ人たちは、隣人パレスチナ人を爆撃したり、戦車で踏み潰したりしても、何らの良心の呵責がないようです。異邦人を殺すことは神が律法で認めている、と曲解しているのでしょうか。タルムードの教え、ユダヤ教の教えとはかくのごとく、悪魔的です。

＜彼らは艱難時代を到来させる＞

さて、③クリスチャンへの迫害ということを見ていきましょう。上記スミルナの教会に関することば、「**あなたがたは十日の間苦しみ(艱難)を受ける**」に使われている「苦しみ(艱難)」ということばには、マタイの福音書24章の艱難時代を表すことばと同じ原語が使われています。

[聖書箇所]マタイの福音書 24:29

24:29 **だが、これらの日の苦難に続いてすぐに、太陽は暗くなり、月は光を放たず、星は天から落ち、天の万象は揺り動かされます。**

したがって、彼ら偽ユダヤ人が艱難時代と関係することを聖書は暗示しているように思えます。スミルナの教会は苦難や殉教が起きる教会ですが、その艱難には明らかに偽ユダヤ人が関係しているように読めます。同じ意味合いで、終末の日の艱難時代にも、偽ユダヤ人が大いに関係すると理解することは聖書的に正しいと思えます。

＜獣の国アメリカを牛耳る偽ユダヤ人＞

聖書は終末の日の艱難時代、クリスチャンへの迫害は、獣の国を通して行われることを預言します。以下の通りです。

[聖書箇所]ヨハネの黙示録 13:5-7

13:5 **この獣は、傲慢なことを言い、けがしごとを言う口を与えられ、四十二か月間活動する権威を与えられた。**

13:6 **そこで、彼はその口を開いて、神に対するけがしごとを言い始めた。すなわち、神の御名と、その幕屋、すなわち、天に住む者たちをののしった。**

13:7 **彼はまた聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され、また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。**

上記のように42ヶ月、すなわち3年半の艱難時代は獣の国アメリカを通して実現するのです。そしてそのアメリカとは、じつは偽ユダヤ人によって操られている国なのです。知る人ぞ、知ることですが、アメリカを実際に支配しているのは、大統領でも国会議員でもなく、わずかな人口、しかし富の大半を手中にする偽ユダヤ人たちです。具体的にはロスチャイルドやロックフェラーといった人々です。

彼らがアメリカや国連、世界の政治、金融、軍事、国連、石油、食料、メディアなどを支配していることは広瀬隆著「赤い盾」に詳しいです。

＜強制収容所はアメリカに作られている＞

ユダヤ人が支配する国、アメリカは来るべき艱難時代の備えとして正しいクリスチャンを迫害、逮捕、投獄、命を奪うためにあらゆる準備を進めています。この国に何百箇所と用意されている強制収容所は正しいクリスチャンを逮捕、迫害するためにいずれ用いられるでしょう。同じく用意されているギロチンは以下のように黙示録に記されている、首を切られた殉教者たちを生むようになるでしょう。

ユダヤ人だと嘘をついている悪魔礼拝者たち エレミヤ

〔聖書箇所〕ヨハネの黙示録 20:4

20:4 また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行なう権威が彼らに与えられた。また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その額や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。

現在アメリカの国は憎しみや憎悪をたぎらせるかのように、正しいクリスチャンへの迫害、法律による締め付けを行っています。たとえば以下の通りです。

*** 聖書にしたがって同性愛を受け入れず、同性愛の集会に対して、デモで抗議したクリスチャンは逮捕される。そして懲役47年、罰金何万ドルをも求刑されている。**

*** スーパーマーケットの前で聖書片手に路傍伝道を行っている牧師は逮捕される。**

*** 路上でトラクトを配っているクリスチャンが逮捕される。**

かくのごとく、アメリカは聖書に預言されている獣の国の本性を現したかのように、あらゆる形でキリストの教えに反対し、正しいクリスチャンを迫害しています。この迫害の傾向は年と共に厳しいものとなっており、静まる気配などありません。

この傾向が続けばいずれ、強制収容所が正しいクリスチャンで埋まり、ギロチンが正しいクリスチャンの首を切り落とすようになるでしょう。聖書に警告されているすべての預言が成就するようになるのです。そしてその裏には、偽ユダヤ人がおり、キリストやクリスチャンを憎悪する偽ユダヤ人が存在することを知らなう。

<アメリカは全世界を支配し、全世界のクリスチャンが迫害される>

聖書は終末の日に世界の全ての正しいクリスチャンが迫害されることを預言します。以下の

通りです。

〔聖書箇所〕ヨハネの黙示録 3:10

3:10 あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、全世界に來ようとしている試練の時には、あなたを守ろう。

このような全世界のクリスチャンを迫害する日とは一体、どのようにして到来するのでしょうか？その前提として、まず獣の国アメリカー国による全世界支配ということが起きるのです。そしてその全世界支配の日は、以下のように聖書に預言されています。

〔聖書箇所〕ヨハネの黙示録 13:3, 7

13:3 その頭のうちの一つは打ち殺されたかと思われたが、その致命的な傷も直ってしまった。そこで、**全地(KJV:all the world<全世界>)は驚いて、その獣に従い、**

13:7 **彼はまた聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され、また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。**

一つの国が全世界を支配する日、そんな日を我々は今まで一度も経験したことがないので誰も想像出来ないのですが、しかし聖書がそう預言するなら、その日は到来すると思ったほうが良いのです。

そして獣の国アメリカはその日のために着々と用意を進めています。軍事力一つを考えてもその準備は完了しつつあります。現在アメリカの軍事費は一国だけで全世界の軍事費の40%をも占めています。圧倒的なナンバーワンです。世界2位から10位までを足し上げた額より多いのです。この面から見てもアメリカに獣の国の資格があるのですが、その裏には世界支配、そしてその後、正しいクリスチャンへの迫害を目指す偽ユダヤ人の存在があるのです。

<教会の背教は、忍び込んだ偽ユダヤ人により推進する>

聖書は敵が教会の中に毒麦、偽りの教えや教理を持ち込むことを預言します。以下の通りで

ユダヤ人だと嘘をついている悪魔礼拝者たち エレミヤ

す。

〔聖書箇所〕マタイの福音書 13:24,25

13:24 イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われた。「天の御国は、こういう人にたとえることができます。ある人が自分の畑に良い種を蒔いた。

13:25 ところが、人々の眠っている間に、彼の敵が来て麦の中に毒麦を蒔いて行った。

ここに書かれていますように、聖書は敵が毒麦、すなわち人を滅ぼす教を畑、教会に蒔くことを預言しています。このことは成就しており、たとえばものみの塔のように聖書の正しい教理を破壊することを目的とするような団体が存在します。モルモン教もそうです。そしてこれらの異端の教えのルーツはユダヤ的な人物が関係しています。さらにキリスト教会に忍び込み、おかしな異端教理を持ち込む人々にもユダヤ人らしき人が多いのです。このことはいつか別途見ましょう。

<偽ユダヤ人が反キリストになる>

このようにして教会の背教が進んだ後、教会は最後にはキリストを追い出し、反キリストを受け入れるようになることが聖書には書かれています。

〔聖書箇所〕Ⅱテサロニケ人への手紙 2:3,4

2:3 だれにも、どのようにも、だまされないようにしなさい。なぜなら、まず背教が起こり、不法の人、すなわち滅びの子が現われなければ、主の日は来ないからです。

2:4 彼は、すべて神と呼ばれるもの、また礼拝されるものに反抗し、その上に自分を高く上げ、神の宮の中に座を設け、自分こそ神であると宣言します。

ここには以下の順番で、反キリストが教会の神として受け入れられることが書かれています。

①まず、教会が背教する。イエスは神ではない、彼はただの人間であり、結婚も行い、子どもも作った、新約聖書は嘘っぱちであると公言するようになる。

②不法の人（罪の人）が教会にやって来て、教

会において今まで罪と言われていたことをためらわず行うように信者をミスリードする。結果、同性愛の受け入れなど、聖書に逆らう行いを教会のクリスチャンが行うようになる。

③教会からキリストが追放され、その代わりに反キリストがその地位を占める。

この反キリストは今までの流れから言うと、偽ユダヤ人になる可能性が高いです。

<結局は偽ユダヤ人による獣の国も反キリストも滅びる>

さて、このようにして陰謀の限りを尽くし、偽ユダヤ人は苦心して獣の国を作り、また、クリスチャンを惑わすべく、偽ユダヤ人を教会の神、反キリストとして立てるのです。しかしキリストの再臨の日には獣の国は焼かれ、反キリストもあっさり滅びることが描かれています。

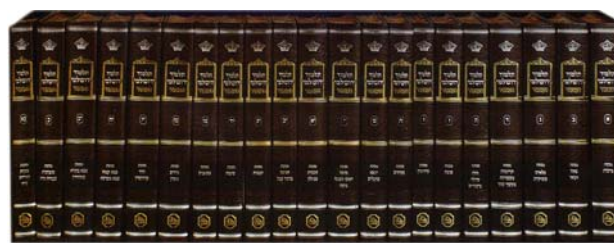
〔聖書箇所〕ダニエル書 7:11

7:11 私は、あの角が語る大きなことばの音がするので、見ていると、そのとき、その獣は殺され、からだはそこなわれて、燃える火に投げ込まれるのを見た。

〔聖書箇所〕Ⅱテサロニケ人への手紙 2:8

2:8 その時になると、不法の人が現われますが、主は御口の息をもって彼を殺し、来臨の輝きをもって滅ぼしてしまわれます。

このようにして、いずれ獣の国も反キリストも主の来臨の日には、滅ぼされることを見ましよう。



ユダヤ經典タルムード:キリスト、クリスチャンへの呪いに満ちている

「御霊の実」を結ぶ(2) E3

今年の5月号で、「御霊の実を結ぶ」というテーマで話をさせていただきましたが、つい最近の礼拝のメッセージにおきましても、「御霊の実」に関してとても大事なポイントをエレミヤ牧師が語られていましたので、そのことも紹介させていただきたいと思います。また、今回の内容も永遠の命を得るための大切なキーになるのでは？と私個人は思いましたので、よろしければお読みいただけると幸いに思います。以下、エレミヤ牧師によるメッセージです。

【聖書箇所】マルコの福音書4:26-29

4:26 また言われた。「神の国は、人が地に種を蒔くようなもので、
4:27 夜は寝て、朝は起き、そうこうしているうちに、種は芽を出して育ちます。どのようにしてか、人は知りません。
4:28 地は人手によらず実をならせるもので、初めに苗、次に穂、次に穂の中に実がはいります。
4:29 実が熟すると、人はすぐにかまを入れます。収穫の時が来たからです。」

「神の国」とは、「教会」のことです。「人」は、イエス・キリストのことを言われています。ここでのポイントは、「かま」を入れることです。このことばは、黙示録の「かまを入れる」ということに通じます。そして「かま」を入れるポイントとしては、「実」です。「実」は、「御霊の実」に通じます。ポイントはつまり、「御霊の実」を結ばせることです。神は、「御霊の実」を結ぶことに注目しています。そうです。私たちが御霊の実を結ぶかどうかということをご覧になっています。そして、「実」が出来たら、刈り取ります。けれども、「実」が出ていないクリスチャンは刈り取られません。そういう意味で、クリスチャンの大事な部分は「御

霊の実」である、と言えます。「実」が無いと、刈り取られませんので、ゆえに「御霊の実」を結ぶことに注目していきたいと思います。さらに詩篇のみことばも見てみましょう。

【聖書箇所】詩篇128:3

128:3 あなたの妻は、あなたの家の奥にいて、豊かに実を結ぶぶどうの木のように。あなたの子らは、あなたの食卓を囲んで、オリーブの木を囲む若木のように。

「実」を結ぶことが結構大事なことだということもここでも言われています。「実」とは、ガラテヤ人への手紙に書かれている「御霊の実」のことを言われています。そして主を恐れていくときに、御霊の実を結ぶようになります。ポイントとして、御霊の実を結ぶことはクリスチャン生活に必須なので、そのことを心掛けていきたいと思います。「実」に関して、マタイの福音書にも書かれていますので、そこも見ていきましょう。

【聖書箇所】マタイの福音書3:7-10

3:7 しかし、パリサイ人やサドカイ人が大ぜいバプテスマを受けに来るのを見たとき、ヨハネは彼らに言った。「まむしのすえたち。だれが必ず来る御怒りをのがれるように教えたのか。
3:8 それなら、悔い改めにふさわしい実を結びなさい。
3:9 『われわれの先祖はアブラハムだ。』と心の中で言うような考えではいけません。あなたがたに言うておくが、神は、この石ころからでも、アブラハムの子孫を起すことができになるのです。
3:10 斧もすでに木の根元に置かれています。だから、良い実を結ばない木は、みな切り倒されて、火に投げ込まれます。」

「御霊の実」を結ぶ(2) E3

8節の「実」は、「御霊の実」のことです。そして10節では、御霊の実を結ばないと大変なことになることを言われています。一見、オーバーに聞こえます。でも、聖書に書かれていることは、皆実現していきます。歩みを斜す、悔い改めが大事ということをごここでは言われています。ゆえに御霊の実を真剣に求めていかなければいけません。そうでないと、10節のことが実現してしまうからです。ちなみに10節に書かれていることは、後の世のことではなく、現世のことを言われています。以下、みことばがそのことを証しています。

【聖書箇所】マタイの福音書13:40

13:40 ですから、毒麦が集められて火で焼かれるように、この世の終わりにもそのようになります。

「この世の終わり」とあります。そしてそれは、次の時代のことではありません。ゆえに、先ほどの10節のことは現代のことで、来世のことではないことが理解出来ます。今、まさに起きることを言っているのです。そして「火に投げ込まれる」とか「火で焼かれる」とは、来世の地獄のことではなく、「惑わしの霊」のことを言われています。おかしい霊に引っ掛かっている人がまさしくそうだと言えます。そういう人は火、すなわち惑わしの火で焼かれているのです。そうなってしまうのは、良い実を結ばないからです。肉の実ばかりを結んでいる人は、惑わしの火に投げ込まれてしまいます。しかも今、このことが起きているのです。また、火で焼かれている人は、まさか自分が火で焼かれているとは思っていません。けれども、良い実を結んでいない人は、火で焼かれてしまいます。ゆえに御

霊の実を結ぶことは急務と言えます。賜物よりも、御霊の実を結ぶことをどんどん求めていきたいと思えます。

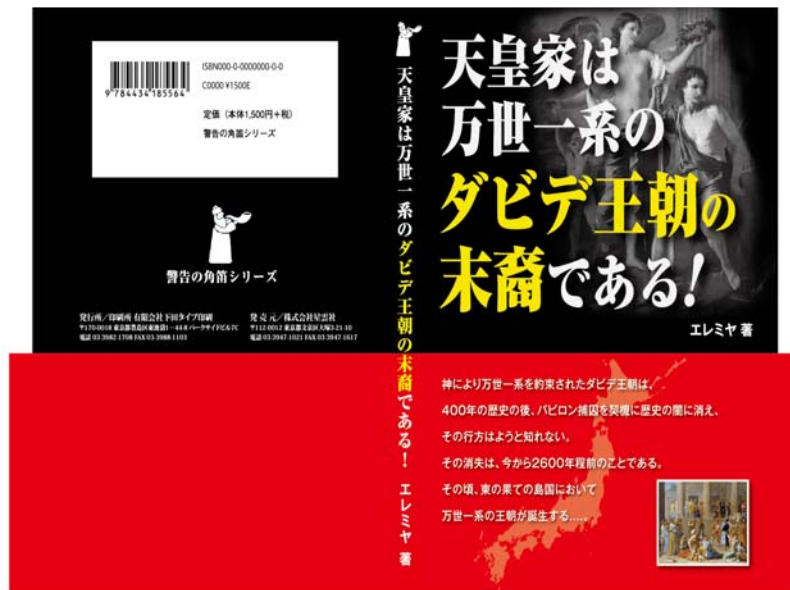
以上のこと、すなわち、「御霊の実」を結んでいくことに関して、エレミヤ牧師がメッセージをされていました。私個人としては、このことも非常に大事なことでは？と思いましたが、紹介させていただきました。メッセージの中でも言われていましたように、「御霊の実」とは、ガラテヤ人への手紙に書かれていることです。「**愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制(ガラテヤ人への手紙5章22,23節)**」です。もし、私たちがこれらの実を結ばせることに着眼して歩んでいくのなら、刈り取られる、すなわち天の御国に入ることが出来る、ということをおっしゃっていました。もし、そうかも知れない・・・なんて思われましたら、ぜひ実践してみてください。いつも大切なことを語ってくださる神様に栄光と誉れがありますように。



実を結ばない木は火で焼かれる

お知らせコーナー

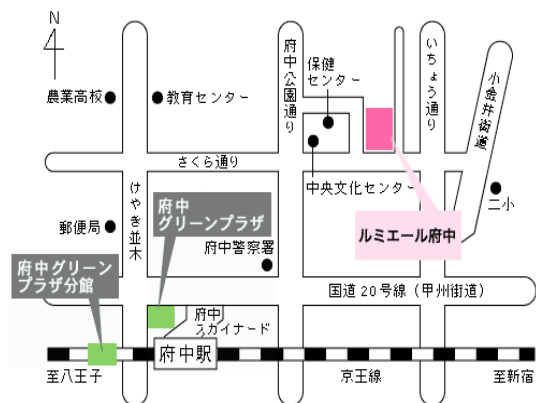
●エレミヤの新刊「天皇家は万世一系のダビデ王朝の末裔である！」



● 定価:¥1,500+消費税 ※注文を御希望の方は、以下へご連絡下さい。
● 警告の角笛出版 tel:042-364-2327 fax:020-4623-5255
● mail:truth216@nifty.com

●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日 午前 10:30-12:30
午後 14:00-16:00
場所:東京都京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館
(tel:042-360-3311)
1Fのエレベーター脇の部屋表示板で、
「レムナントキリスト教会」の部屋をご確認ください。
どなたでも来会歓迎、入場無料です。



礼拝場所のURL: http://www.fuchu-cpf.or.jp/green/access/map_02.html

★教会のHPもあります。

ご興味のある方は、“Yahoo! Japan”で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。
尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoj.jimdo.com/>